

2024年度中間期決算  
および  
2024年度通期業績予想  
(決算補足説明資料)

2024年10月31日

三谷産業株式会社

本資料にて開示されているデータや将来予測は、本資料の発表日現在の判断や入手可能な情報に基づくもので、種々の要因により変化することがあり、これらの目標や予想の達成、および将来の業績を保証するものではありません。また、これらの情報は、今後予告なしに変更されることがあります。したがって、本情報および資料の利用は、他の方法により入手された情報とも照合確認し、利用者の判断によって行ってください。本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。

2024年10月31日(木)

2024年度中間期決算および2024年度通期業績予想

決算補足説明資料

## 会社概要

社名	三谷産業株式会社
創業	1928（昭和3）年2月11日
設立	1949（昭和24）年8月11日
代表者	代表取締役社長 三谷忠照
本社所在地	金沢本社：石川県金沢市 / 東京本社：東京都千代田区
資本金	48億8百万円
従業員数	連結：3,556名 / 単体：609名
上場証券取引所	東証スタンダード・名証プレミア（証券コード：8285）
連結子会社	21社（国内：11社 / 海外：10社）
発行可能株式総数	220,000,000株
発行済株式総数	61,772,500株
単元株式数	100株
株主数	19,755名
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社



金沢本社



東京本社  
(2024年9月30日現在)

## 首都圏・北陸・ベトナムで6つの事業領域を展開 事業間のシナジー創出や新たな事業創出にも取り組む

商社機能とメーカー機能を活かした複合解決力で、お客さまとともに課題を解決。新たなマーケットを開拓します。

化学品

安心・安全なエネルギーの安定供給を担い、限りある資源を有効活用できる仕組みを提案します。

エネルギー

“良品しかつけない製造工程”を確立。高精度な自動車部品の一貫生産体制を構築します。

樹脂・  
エレクトロニクス

お客さまにとって豊かで快適な住空間を提案し、上質な住まいづくりに貢献します。

住宅設備機器

次世代のデジタルソリューション・サービスを提供し、お客さまとともに経営課題を解決します。

情報システム

企画・設計・施工力を活かして、お客さまにとって心地よく、環境にやさしい快適空間を提供します。

空調設備工事

その他の事業

- ・グループ会社に対する横断的な業務支援
- ・ベンチャー企業への出資、経営サポート
- ・新規事業の立案、実行

## 2024年度中間期 連結P/L

売上高および親会社株主に帰属する中間純利益については、連結決算開示以来、中間連結会計期間としては過去最高

- ✓ 売上高：樹脂・エレクトロニクス、住宅設備機器を除く4つの事業セグメントにおける増加により、増加
- ✓ 営業利益：空調設備機器、化学品を除く4つの事業セグメントにおける減少により、減少
- ✓ 経常利益：営業利益の減少を主要因に、減少
- ✓ 親会社株主に帰属する中間純利益：政策保有株式に係る投資有価証券売却益の計上を主要因に、増加
- ✓ 親会社株主に係る中間包括利益：その他有価証券評価差額金の減少により、減少

(単位：百万円)

	FY23 2Q	FY24 2Q	増減額	前年同期比	FY24 見通し	進捗率
売上高	45,904	48,719	+ 2,814	+ 6.1%	101,000	48.2%
売上総利益	8,828	9,213	+ 384	+ 4.4%	—	—
(利益率)	19.2%	18.9%	▲ 0.3%	—	—	—
営業利益	804	755	▲ 49	▲ 6.1%	1,700	44.4%
経常利益	1,182	1,163	▲ 19	▲ 1.6%	2,200	52.9%
親会社株主に帰属する 中間純利益	873	1,271	+ 398	+ 45.6%	1,750	72.6%
親会社株主に係る 中間包括利益	2,920	444	▲ 2,475	▲ 84.8%		

COPYRIGHT 2024 © MITANI SANGYO CO., LTD.

3

### <連結業績>

売上高:487億19百万円(前年同期比28億14百万円増 6.1%増)

営業利益:7億55百万円(前年同期比49百万円減 6.1%減)

経常利益:11億63百万円(前年同期比19百万円減 1.6%減)

親会社株主に帰属する中間純利益:12億71百万円(前年同期比3億98百万円増 45.6%増)

## 2024年度中間期 セグメント別売上高

空調設備工事、化学品、情報システム、エネルギーの4つの事業セグメントが増加

- ✓ 化学品：北陸地区において顧客の稼働が増加したことに加えて、当社子会社が共立化学(株)を子会社化し吸収合併したことから、増加
- ✓ 空調設備工事：北陸地区および首都圏において大型の新築工事が順調に進捗したことから、増加
- ✓ 情報システム：北陸地区での顧客への納入が順調であったことから、増加
- ✓ 樹脂・Eレクトロニクス：自動車メーカーの認証不正に伴う生産停止や中国での販売減少の影響を一時的に受け車載向け樹脂成形品の需要が減少したことから、減少
- ✓ エネルギー：民生用LPガスについて家庭用での供給件数が増加したことから、増加
- ✓ 住宅設備機器：首都圏において前年同期に大型案件の進捗が大きかったことから、減少

(単位：百万円)

	FY23 2Q	FY24 2Q	増減額	前年同期比
化学品	18,018	19,460	+ 1,442	+ 8.0%
空調設備工事	6,298	9,054	+ 2,756	+ 43.8%
情報システム	4,585	4,722	+ 136	+ 3.0%
樹脂・Eレクトロニクス	6,068	5,527	▲ 541	▲ 8.9%
エネルギー	3,203	3,282	+ 78	+ 2.5%
住宅設備機器	7,501	6,300	▲ 1,201	▲ 16.0%
その他	1,189	1,344	+ 154	+ 13.0%

COPYRIGHT 2024 © MITANI SANGYO CO., LTD.

4

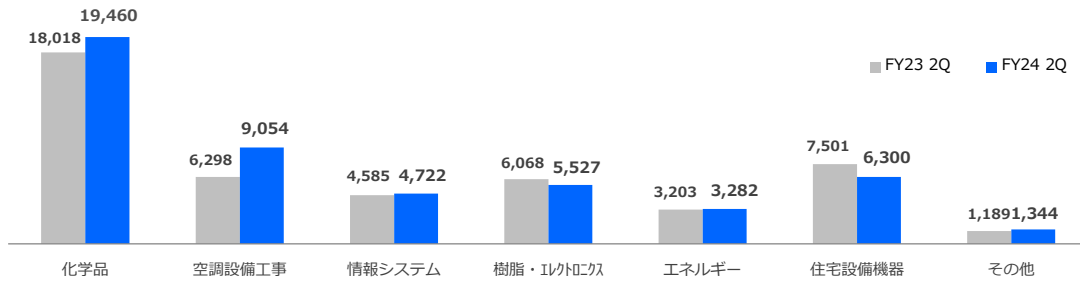
### <セグメント別の売上高増減額>

化学品：	+14億42百万円
空調設備工事：	+27億56百万円
情報システム：	+1億36百万円
樹脂・Eレクトロニクス：	▲5億41百万円
エネルギー：	+78百万円
住宅設備機器：	▲12億1百万円

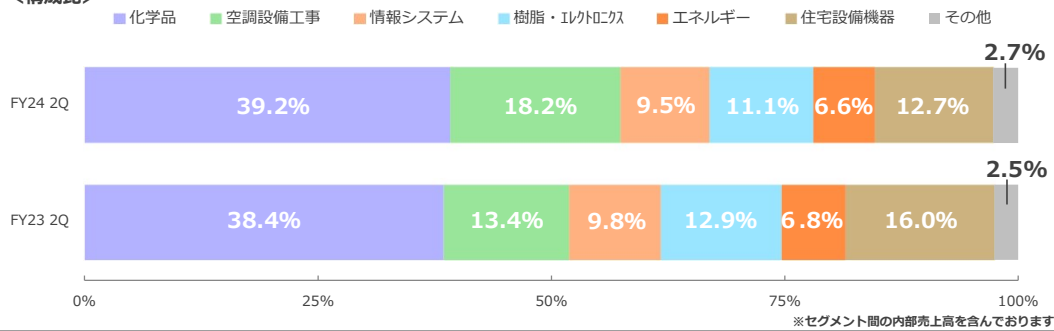
## 2024年度中間期 セグメント別売上高

<セグメント別売上高>

(単位：百万円)



<構成比>



※セグメント間の内部売上高を含んでおります

<セグメント別の売上高構成比>

6事業セグメントにおける売上構成比に顕著な変動はありません。

## 2024年度中間期 セグメント別営業利益

空調設備工事、化学品の2つの事業セグメントが増加

- ✓ 化学品：北陸地区において顧客の稼働が増加したことに加えて、当社子会社が共立化学㈱を子会社化し吸収合併したことから、増加
- ✓ 空調設備工事：売上高の増加に加えて、高付加価値案件の創出に努めてきたことから、増加
- ✓ 情報システム：前年同期に比べ比較的付加価値の低い仕入販売が増加したことに加え、人員増強に伴う費用等が増加したことから、減少
- ✓ 樹脂・IT外ロックス：自動車メーカーの認証不正に伴う生産停止や中国での販売減少の影響を一時的に受け車載向け樹脂成形品の需要が減少したことから、減少
- ✓ エネルギー：民生用LPガスの新規顧客獲得に係る先行投資を行ったことから、減少
- ✓ 住宅設備機器：売上高の減少に加え、プロモーション活動に必要な費用計上が続いており、損失が拡大

(単位：百万円)

	FY23 2Q	FY24 2Q	増減額	前年同期比
化学品	287	309	+ 21	+ 7.6%
空調設備工事	345	760	+ 415	+ 120.3%
情報システム	490	444	▲ 46	▲ 9.4%
樹脂・IT外ロックス	643	494	▲ 148	▲ 23.1%
エネルギー	65	30	▲ 34	▲ 52.9%
住宅設備機器	▲ 134	▲ 305	▲ 171	—
その他	83	89	+ 5	+ 6.4%

COPYRIGHT 2024 © MITANI SANGYO CO., LTD.

6

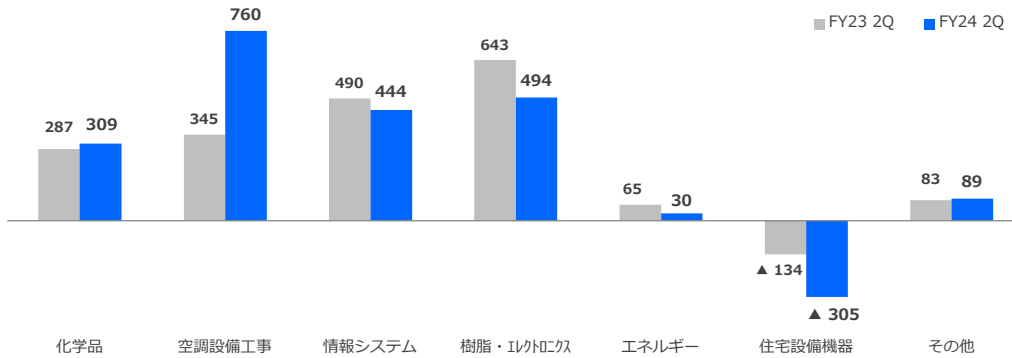
### <セグメント別の営業利益増減額>

化学品：	+21百万円
空調設備工事：	+4億15百万円
情報システム：	▲46百万円
樹脂・エレクトロニクス：	▲1億48百万円
エネルギー：	▲34百万円
住宅設備機器：	▲1億71百万円

## 2024年度中間期 セグメント別営業利益

<セグメント別営業利益>

(単位：百万円)



※セグメント間の内部売上高を含んでおります

COPYRIGHT 2024 © MITANI SANGYO CO., LTD.

7

### <セグメント別の状況>

#### 〔化学品〕 増収・増益

国内における化成品販売については、北陸地区において顧客の稼働が増加したことに加えて、当社子会社の(株)ミライ化成が共立化学(株)を子会社化し、吸収合併したことから売上高は増加しました。

医薬品原薬については、自社製品において販売が順調であったことから、売上高は増加しました。

機能性素材の受託製造については、顧客の在庫調整の影響を受けて、売上高は減少しました。

環境ビジネスについては、有価金属回収事業において取扱量が増加したことから、売上高は増加しました。

ベトナムにおける化成品販売については、顧客の稼働が減少したことから、売上高は減少しました。

以上により、全体の売上高は、前年同期比8.0%増の194億60百万円となり、営業利益は、前年同期比7.6%増の3億9百万円となりました。

#### 〔空調設備工事〕 増収・増益

受注高は、北陸地区において前年同期に大型の新築工事の受注があったことから、前年同期比4.6%減の77億39百万円となりました。

売上高は、北陸地区および首都圏において大型の新築工事が順調に進捗したことから、前年同期比43.8%増の90億54百万円となり、営業利益は、売上高の増加に加えて、新築工事およびリニューアル工事において高付加価値案件の創出に努めてきたことから、前年同期比120.3%増の7億60百万円となりました。

#### 〔情報システム〕 増収・減益

受注高は、北陸地区において複数の基幹システム更新案件を受注できたことから、前年同期比8.1%



増の58億24百万円となりました。

売上高は、北陸地区での顧客への納入が順調であったことから、前年同期比3.0%増の47億22百万円となりました。営業利益は、前年同期に比べ比較的付加価値の低い仕入販売が増加したことに加え、人員増強に伴う費用等が増加したことから、前年同期比9.4%減の4億44百万円となりました。

#### 〔樹脂・エレクトロニクス〕 減収・減益

売上高は、自動車メーカーの認証不正に伴う生産停止や中国での販売減少の影響を一時的に受けて車載向け樹脂成形品の需要が減少したことから、前年同期比8.9%減の55億27百万円となり、営業利益は、前年同期比23.1%減の4億94百万円となりました。

#### 〔エネルギー〕 増収・減益

石油製品については、販売価格は、前年同期並みとなりました。販売数量は、顧客の稼働低下により減少しました。

民生用LPガスについては、販売価格は、堅調に推移しました。販売数量は、家庭用での供給件数が増加したことから前年同期を上回りました。

以上により、全体の売上高は、前年同期比2.5%増の32億82百万円となりました。一方で、営業利益は、民生用LPガスの新規顧客獲得に係る先行投資を行ったことから、前年同期比52.9%減の30百万円となりました。

#### 〔住宅設備機器〕 減収・減益

受注高は、首都圏において前年同期に複数の大型案件の受注があったことから、前年同期比0.8%減の67億7百万円となりました。

売上高は、首都圏において前年同期に大型案件の進捗が大きかったことから、前年同期比16.0%減の63億円となりました。営業損失は、売上高の減少に加え、オリジナルブランドのプロモーション活動に必要な費用計上が続いており、3億5百万円となりました(前年同期の営業損失は1億34百万円)。

## 2024年度中間期 連結B/S

総資産は減少、純資産は増加。自己資本比率は前期から2.1ポイント上がり、51.7%

- ✓ 流動資産：現金及び預金▲7億5百万円、商品及び製品▲4億50百万円、完成工事未収入金▲4億44百万円を主要因に減少
- ✓ 固定資産：投資有価証券▲10億92百万円を主要因に減少
- ✓ 流動負債：短期借入金▲11億45百万円、支払手形及び買掛金▲8億74百万円、工事未払金▲2億80百万円、未払法人税等▲1億97百万円を主要因に減少
- ✓ 固定負債：長期借入金▲1億88百万円を主要因に減少
- ✓ 株主資本：利益剰余金+9億94百万円を主要因に増加
- ✓ 純資産：上記株主資本を主要因に増加、一方でその他有価証券評価差額金▲5億21百万円が発生

<2024 2Q>

(単位：百万円)

	FY23	FY24 2Q	増減額
流動資産	45,850	43,442	▲ 2,407
固定資産	49,019	47,909	▲ 1,110
資産合計	94,869	91,351	▲ 3,518
流動負債	36,427	33,060	▲ 3,366
固定負債	11,286	10,898	▲ 388
純資産	47,156	47,392	+ 236

流動資産 43,442	流動負債 33,060
	固定負債 10,898
固定資産 47,909	純資産 47,392

COPYRIGHT 2024 © MITANI SANGYO CO., LTD.

8

### <連結財政状態>

当中間連結会計期間末の総資産残高は、913億51百万円となり、前連結会計年度末に比べ35億18百万円減少しました。

主な要因は、現金及び預金7億5百万円の減少、完成工事未収入金4億44百万円の減少、商品及び製品4億50百万円の減少、投資有価証券10億92百万円の減少であります。

負債残高は、439億58百万円となり、前連結会計年度末に比べ37億54百万円減少しました。

主な要因は、支払手形及び買掛金8億74百万円の減少、工事未払金2億80百万円の減少、短期借入金11億45百万円の減少、未払法人税等1億97百万円の減少であります。

純資産残高は、473億92百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億36百万円増加しました。

これらの結果、連結ベースの自己資本比率は、前連結会計年度末の49.6%から51.7%となりました。

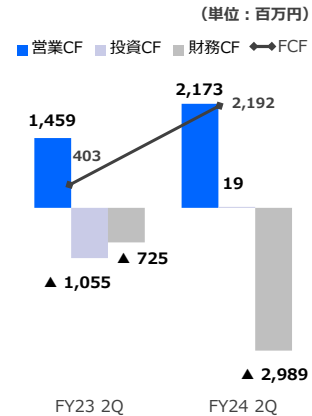
## 2024年度中間期 連結C/F

営業CFがプラス、投資CFがプラス、財務CFがマイナス、フリーCFはプラス。

- ✓ 営業CF：税金等調整前中間期純利益、売上債権の減少、減価償却費を主要因に、21億73百万円
- ✓ 投資CF：投資有価証券の売却による収入、有形固定資産の取得による支出を主要因に、19百万円
- ✓ 財務CF：短期及び長期の借入金の純減、配当金の支払を主要因に、▲29億89百万円
- ✓ フリーCF：前年同期比17億88百万円増加の21億92百万円

	FY23 2Q	FY24 2Q	増減額
営業CF	1,459	2,173	+ 713
投資CF	▲ 1,055	19	+ 1,075
財務CF	▲ 725	▲ 2,989	▲ 2,264
フリーCF	403	2,192	+ 1,788

※フリーCF = 営業CF + 投資CF



### <連結キャッシュ・フロー>

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は69億6百万円となり、前連結会計年度末に比べ8億11百万円の減少となりました。

「営業活動によるキャッシュ・フロー」は21億73百万円の収入となりました。

主なプラス要因は、税金等調整前中間期純利益19億38百万円、減価償却費9億81百万円、売上債権の減少額24億22百万円であり、主なマイナス要因は、仕入債務の減少額14億24百万円、法人税等の支払額8億24百万円であります。

「投資活動によるキャッシュ・フロー」は19百万円の収入となりました。

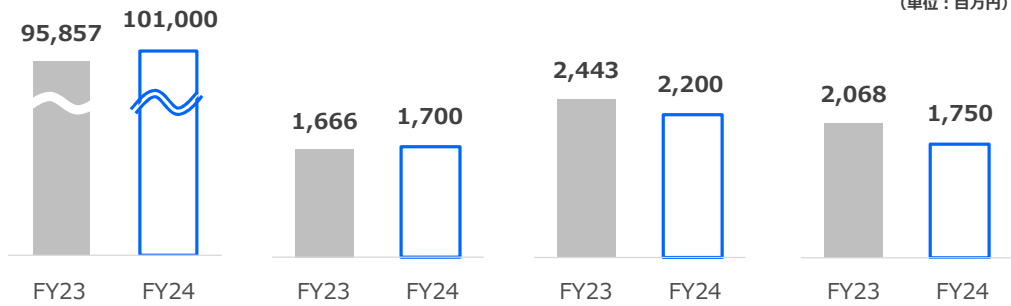
主な要因は、有形固定資産の取得による支出8億58百万円、投資有価証券の売却による収入11億19百万円であります。

「財務活動によるキャッシュ・フロー」は29億89百万円の支出となりました。

主な要因は、短期及び長期の借入金の純減額が合わせて25億34百万円、配当金の支払額2億77百万円であります。

2024年度 連結業績予想（本年4月公表の業績予想から変更なし）

売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 当期純利益
<b>1,010</b> 億円	<b>17</b> 億円	<b>22</b> 億円	<b>17億50</b> 百万円
前期比 + 51億43百万円	+ 34百万円	▲ 2億43百万円	▲ 3億18百万円



COPYRIGHT 2024 © MITANI SANGYO CO., LTD.

10

< 通期連結業績見通し >

通期連結業績見通しについては、本年4月30日に公表した業績予想から変更はありません。

売上高は前期比51億43百万円増加、5.4%増の1,010億円

営業利益は前期比34百万円増加、2.0%増の17億円

経常利益は前期比2億43百万円減少、10.0%減の22億円

親会社株主に帰属する当期純利益は前期比3億18百万円減少、15.4%減の17億50百万円

## 配当方針

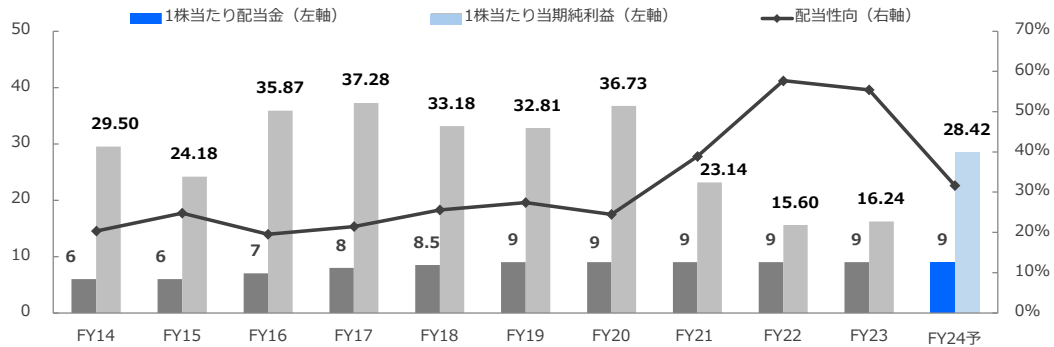
継続的な安定配当を実施するとともに、企業体質の強化と将来の事業拡大に備えるため、必要な内部留保を確保していくことを基本方針としております。内部留保資金については、将来の事業拡大に伴う運転資金、既存事業の拡大および新規事業の開発に伴う投資資金として有効活用していきたいと考えております。

この基本方針のもと、将来の事業拡大に向けた設備投資、オリジナル製品の開発、ベンチャー企業への投資・連携・協業などに取り組みました。

現状の利益水準、中期経営計画の進捗状況等を踏まえ総合的に検討しました結果、中間配当金を1株当たり4円50銭としました。

2024年度の1株当たり配当金は年間9円（中間4円50銭、期末4円50銭）を計画しています。

(単位：円)



COPYRIGHT 2024 © MITANI SANGYO CO., LTD.

11

### <配当方針>

現状の利益水準、中期経営計画の進捗状況等を踏まえ総合的に検討しました結果、中間配当金を1株当たり4円50銭としました。2024年度の1株当たり配当金は年間9円（中間4円50銭、期末4円50銭）を計画しています。



MITANI

COPYRIGHT 2024 © MITANI SANGYO CO., LTD.